

令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立南六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・地図帳やグラフ、写真を活用し、丁寧に読み取らせた。児童は地域同士のつながりや社会の広がり意識することができた。
- ・仕事や行事に従事している大人の工夫や願いを確かめた。児童はいろいろな人が関わって社会生活が行われていることを確かめることができた。
- ・単元に合わせた本などの資料を教室の前に用意した。資料を活用し、主体的に調べる姿が見られた。

(2) 課題

- ・社会の用語、地名を繰り返し学習して定着させる。
- ・資料を正確に読み取る力に課題があるため、資料を読み取った事実から更に考えたり想像したりできるような活動を設定し、資料を正確に読み取らせる。
- ・学習のまとめ方の基礎を身に付けられるよう指導する。また、自分なりの工夫をしたり意見を書いたりして、読む人を引きつけさせる工夫をできるようにする。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	・多くの領域で、知識・技能が下回った。資料の読み取りや仕事の役割についての理解力が低い。 ・思考・判断・表現は、目標値を上回っている。		
第5学年	・思考・判断・表現では、生活の領域で、資料の読み取りや適切な資料の判断において、目標値を下回った。	・思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度は目標値を上回っているが、知識・技能の観点で大田区の目標値を下回っている。	
第6学年	・知識・技能では、農業、水産業の領域で大田区の目標値を下回っている。	・知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の全ての観点で大田区の目標値を下回っている。	・知識・技能、思考・判断・表現は大田区の目標値を下回り、主体的に学習に取り組む態度は、大田区の目標値をわずかに上回っている。

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・買い物調べ、店で働く人の内容はおおむね理解できている。 ・消防、警察の仕事や仕組みの理解に課題がある。 ・市の人口変化の資料の読み取りに課題がある。	・店の仕事の工夫についてお客さんの願いを考えることができています。 ・年表資料に着目して移り変わりをとらえることに課題がある。 ・資料を正確に読み取ることに課題がある。	・実際に調べたり見学したりした領域は、正答率が高い。 ・無回答の割合が一定程度いる。意欲的に問題に取り組み、何らかの答えを考えられる力を付けることが課題である。 ・資料をもとに発表したりグラフにまとめたりすることに課題がある。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・社会科用語を丁寧に指導する必要がある。 ・産業について、仕事の手順を丁寧に指導する必要がある。 ・日本の周辺の地理についての理解、情報産業の理解に課題がある。	・複数の資料から、それぞれ内容の特色、変化などを読み取ることはある程度できるが、複数の資料を関連付けて表現することに課題がある。 ・学習したことをまとめることに課題のある児童がいる。	・授業では、意欲的に学習に取り組んでいるが、既習の知識を活かして工夫を考えることに課題がある。 ・ICTなどを活用して学習を深め、各単元に興味関心をもつ児童をさらに増やしていく。 ・調べてまとめ、深める学習活動を行っていく。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地図帳を活用して四方位や都道府県の位置を確実に理解できるようにする。 ・地図記号は大田区など都市部の記号に偏らないようにし、日本全国を意識して多様な記号を理解できるようにする。 ・警察、消防の仕事とその仕組みについて理解できるよう指導する。 ・グラフや表の数値を確実に捉えられるようにする。	・児童が資料から読み取った内容を学級全体で共有できるようにし、資料から読み取るべき内容を全児童が理解できるようにする。 ・人々の工夫や人々の願いについて書いたり考えたりする学習を行い、児童が自分で考える力を高める。	・教師が事前に資料から何を読み取らせたいのかを確実にして児童に資料を提示し、児童がめあてに沿った問題解決学習をできるようにする。 ・ICTを活用して実際の動画を提示したり、写真を示したりして、児童が毎時間興味をもって学習できるようにする。 ・振り返りを行い、自分で理解できているかどうかを確かめるようにする。

（2）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基礎的な知識を確実に指導して知識の定着を図る。 ・ICTを活用して理解を深めたり、学んだことを映像と結び付けたりすることで、内容を定着させる。 ・学習で出てきた地名や場所は必ず地図帳で確認させる。 ・資料を読み取る際の観点を明確にし、児童が何を読み取ればよいか、見通しをもたせて活動に取り組ませる。	・複数の情報を、比較・関連付けさせることで、問題を解決する活動を設定する。 ・社会科用語や単元の重要語句を使ってまとめや振り返りを書く活動を取り入れ、まとめを友達と交流することで、表現する力を高める。 ・なぜ、人々は工夫や政策が行われたか考える活動を行い、思考を深めていく。	・日頃より、新聞やインターネットで時事問題に触れることのできる時間をつくる環境を整え、社会的事象への関心を高める。 ・デジタル教科書の資料や動画等のICTを活用して学習を進めたりすることで児童の意欲を継続させる。 ・振り返りを行い、自分で理解できているかどうかを確かめるようにする。